

* * *

次号の特集予告

286 巻 11 号(2023 年 9 月 9 日)

多嚢胞性卵巣症候群 UPDATE

——病態を理解しライフステージに応じた管理を考える

企画：原田美由紀(東京大学大学院医学系研究科産婦人科学)

- ・多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)は、生殖年齢女性において最も罹患頻度の高い内分泌疾患であるが、生殖機能異常と代謝異常とからなる病態は複雑で、十分に解明されておらず、管理の標準化がなされてこなかった。
- ・2016 年以降、PCOS が生涯を通じて健康に与える影響に関する研究が増加しており、さらに PCOS の発症予防、長期間にわたる合併症の管理へと研究内容が進展していることが明らかとなっている。
- ・本特集では、このような PCOS 研究・診療の展開を踏まえて、第一線で活躍される専門家の先生方に、近年の病態研究の最新の成果と、診療上重要となるライフステージごとの健康課題について解説いただく。